

第95回奈良CBC練習会ハンド 2014-12-18

<p>No. 1</p> <p>♠ Q65 ♥ 72 ♦ 742 ♣ J10974</p> <p>♠ AK83 10942 ♥ K109863 ♠ A54 ♦ K W X E ♠ AQ106 ♣ A8 S ♣ Q2</p> <p>♠ J7 ♥ QJ ♦ J9853 ♣ K653</p>	<p>No. 2</p> <p>♠ Q1092 ♥ A86 ♦ 876 ♣ J104</p> <p>♠ AJ754 ♠ K3 ♥ QJ4 ♠ K10752 ♦ KQ ♠ A1052 ♣ 953 ♣ K7</p> <p>♠ 86 ♥ 93 ♦ J943 ♣ AQ862</p>	<p>No. 3</p> <p>♠ A86532 ♥ J84 ♦ 7 ♣ AJ3</p> <p>♠ KJ4 ♠ 9 ♥ Q73 ♠ K62 ♦ A863 ♠ QJ1042 ♣ K107 ♣ Q542</p> <p>♠ Q107 ♥ A1095 ♦ K95 ♣ 986</p>	<p>No. 4</p> <p>♠ 82 ♥ 1094 ♦ AQ653 ♣ A98</p> <p>♠ Q104 ♠ AKJ63 ♥ 875 ♠ AK6 ♦ K98 ♠ 104 ♣ K1062 ♣ QJ4</p> <p>♠ 975 ♥ QJ32 ♦ J72 ♣ 753</p>	<p>No. 5</p> <p>♠ 32 ♥ 53 ♦ AKQ3 ♣ QJ1062</p> <p>♠ KQJ9 ♠ A1085 ♥ AKJ962 ♠ Q84 ♦ 987 ♠ 106 ♣ — ♣ K543</p> <p>♠ 764 ♥ 107 ♦ J542 ♣ A987</p>	<p>No. 6</p> <p>♠ AKQ108 ♥ A4 ♦ K4 ♣ K965</p> <p>♠ J973 ♠ 62 ♥ Q5 ♠ J1097 ♦ J9862 ♠ A753 ♣ 43 ♣ QJ2</p> <p>♠ 54 ♥ K8632 ♦ Q10 ♣ A1087</p>
<p>No. 7</p> <p>♠ K52 ♥ 7 ♦ Q87542 ♣ K84</p> <p>♠ 874 ♠ J ♥ Q8654 ♠ J1093 ♦ 3 W X E ♠ AKJ9 ♣ A1096 S ♣ QJ53</p> <p>♠ AQ10963 ♥ AK2 ♦ 106 ♣ 72</p>	<p>No. 8</p> <p>♠ AJ732 ♥ J103 ♦ Q32 ♣ 93</p> <p>♠ KQ86 ♠ 4 ♥ K84 ♠ AQ92 ♦ J875 ♠ A10 ♣ K4 ♣ A108752</p> <p>♠ 1095 ♥ 765 ♦ K964 ♣ QJ6</p>	<p>No. 9</p> <p>♠ 6 ♥ Q82 ♦ AQ10954 ♣ 975</p> <p>♠ 108 ♠ A97532 ♥ 6 ♠ A1043 ♦ J862 ♠ — ♣ AJ10642 ♣ KQ8</p> <p>♠ KQJ4 ♥ KJ975 ♦ K73 ♣ 3</p>	<p>No. 10</p> <p>♠ QJ8 ♥ 97642 ♦ K6 ♣ 852</p> <p>♠ 10752 ♠ AK6 ♥ KJ ♠ Q105 ♦ AQ953 ♠ J1082 ♣ 64 ♣ AK7</p> <p>♠ 943 ♥ A83 ♦ 74 ♣ QJ1093</p>	<p>No. 11</p> <p>♠ K103 ♥ A62 ♦ AQJ5 ♣ 643</p> <p>♠ Q85 ♠ J9742 ♥ QJ108 ♠ 95 ♦ 94 W X E ♠ K103 ♣ K1095 S ♣ 872</p> <p>♠ A6 ♥ K743 ♦ 8762 ♣ AQJ</p>	<p>No. 12</p> <p>♠ AQ643 ♥ A105 ♦ AQ8 ♣ J8</p> <p>♠ 2 ♠ KJ975 ♥ K74 ♠ 83 ♦ 96432 W X E ♠ J75 ♣ AK64 S ♣ Q32</p> <p>♠ 108 ♥ QJ962 ♦ K10 ♣ 10975</p>
<p>No. 13</p> <p>♠ K10 ♥ 1086 ♦ K8543 ♣ 954</p> <p>♠ QJ985 ♠ 43 ♥ AKJ9 ♠ Q7532 ♦ 102 W X E ♠ A7 ♣ J8 S ♣ Q1072</p> <p>♠ A762 ♥ 4 ♦ QJ96 ♣ AK63</p>	<p>No. 14</p> <p>♠ A ♥ A86532 ♦ AQ ♣ AKQ10</p> <p>♠ K982 ♠ 65 ♥ J104 ♠ Q97 ♦ J109 ♠ 75432 ♣ J86 ♣ 952</p> <p>♠ QJ10743 ♥ K ♦ K86 ♣ 743</p>	<p>No. 15</p> <p>♠ 2 ♥ AQ1063 ♦ 763 ♣ AK106</p> <p>♠ KJ983 ♠ AQ75 ♥ 87 ♠ K52 ♦ AQ109 ♠ K84 ♣ J8 ♣ 974</p> <p>♠ 1064 ♥ J94 ♦ J52 ♣ Q532</p>	<p>No. 16</p> <p>♠ 1075 ♥ 754 ♦ AQJ86 ♣ Q10</p> <p>♠ J932 ♠ 6 ♥ AK96 ♠ Q1083 ♦ 104 W X E ♠ 9752 ♣ 972 S ♠ KJ43</p> <p>♠ AKQ84 ♥ J2 ♦ K3 ♣ A865</p>	<p>No. 17</p> <p>♠ Q42 ♥ 52 ♦ K942 ♣ 10842</p> <p>♠ AJ93 ♠ 10876 ♥ K1093 ♠ QJ87 ♦ A10 W X E ♠ 875 ♣ AK6 S ♠ 93</p> <p>♠ K5 ♥ A64 ♦ QJ63 ♣ QJ75</p>	<p>No. 18</p> <p>♠ AKQ9 ♥ 84 ♦ KQJ2 ♣ KJ5</p> <p>♠ J8652 ♠ 107 ♥ A53 ♠ J97 ♦ 108 W X E ♠ 97643 ♣ Q92 S ♠ 843</p> <p>♠ 43 ♥ KQ1062 ♦ A5 ♣ A1076</p>
<p>No. 19</p> <p>♠ AJ984 ♥ QJ10 ♦ J ♣ QJ43</p> <p>♠ 1063 ♠ Q2 ♥ 52 ♠ AK863 ♦ AKQ10 W X E ♠ 8732 ♣ 96 S ♠ A5</p> <p>♠ K75 ♥ 974 ♦ 54 ♣ K10972</p>	<p>No. 20</p> <p>♠ J1062 ♥ A8532 ♦ 9853 ♣ —</p> <p>♠ K95 ♠ AQ74 ♥ KQJ64 ♠ 10 ♦ J72 W X E ♠ 6 ♣ A10 S ♠ KQJ8532</p> <p>♠ 83 ♥ 97 ♦ AKQ104 ♣ 9764</p>	<p>No. 21</p> <p>♠ Q652 ♥ A ♦ AKJ93 ♣ 973</p> <p>♠ J9 ♠ 10873 ♥ K108532 ♠ J96 ♦ 754 W X E ♠ Q6 ♣ Q6 S ♠ K1052</p> <p>♠ AK4 ♥ Q74 ♦ 1082 ♣ AJ84</p>			

☆ ビッド・プレーに関するコメント (色々と独断や間違いがあると思いますので参考程度に留めて下さい)

No. 1

♠ Q65		♠ 10942
♥ 72		♥ A54
♦ 742		♦ AQ106
♣ J10974		♣ Q2
♠ AK83	♠ 10942	
♥ K109863	♥ A54	
♦ K	♦ AQ106	
♣ A8	♣ Q2	
	♠ J7	
	♥ QJ	
	♦ J9853	
	♣ K653	

N			
W	X	E	
		S	

N	E	S	W
P	1♦	P	1♥
P	1♠	P	3♥
P	4♥	P	end
			(4NT
P	5♥	P	6♥
			end)

Eのハンドで1♦でOPする(左)か、パスする(右)かは意見が分かれるかも知れない。1♦のOPの時はWの3♥のジャンプリビッドに対してEが4♥にレイズしてそのまま決まるか、Wがスラムトライするかは微妙。一方、Eがパスの時(右)は、Wの1♥OPにEがDrury 2♣をビッドし♥3枚以上と Invitationハンドを示す。これにWは2♠をビッドして(Game-F)ハンドに余裕があることを示す。Eは3♦でレスポンスし、Wはスラムトライすることになる。

N	E	S	W
P	P	P	1♥
P	2♣	P	2♠
P	3♦	P	4NT
P	5♥	P	6♥
			end

6♥/W OL:♣J→♣2→♣5→♣A ウイナーは♥以外で♣1♦3♠2の6個あるので、♥でルーザーが出なければ6メイクする。ダミーへのエントリーは♥Aのみなので、♣Aで勝った後、♦Kを勝ち、♥Kを勝つと、Sからサラッと♥Qが出て、次に♥10を出すとNから♥7が出た。♥Jのフィネスをするか♥Aで勝つかは悩ましいゲスとなる。このハンドの場合はQの抜けている9枚カードの集め方の基本に従ってフィネスをせず(確率的には差は僅かだが)、AKをたたけば6メイク出来る。実際のゲームでは、4♥で止まるのと6♥までビッドしたペアは半々であった。また、6♥は約1/3がゲスを外し1ダウンとなっていた。4♥の時は気軽にAKとタタクので殆どが6メイクになる。勝負心理のアヤである。

No. 2

♠ Q1092		♠ K3
♥ A86		♥ K10752
♦ 876		♦ A1052
♣ J104		♣ K7
♠ AJ754	♠ K3	
♥ QJ4	♥ K10752	
♦ KQ	♦ A1052	
♣ 953	♣ K7	
	♠ 86	
	♥ 93	
	♦ J943	
	♣ AQ862	

N			
W		E	
		S	

N	E	S	W
P	1♥	P	1♠
P	1NT	P	3♥
P	4♥	P	end
N	E	S	W
P	1♥	P	1♠
P	2♦	P	4♥
			END

Wの1♠レスポンスに対する、Eのリビッドは1NTと2♦の両方が考えられる。1NTに対してはWは3♥をビッドして4♥or3NTの選択をEに任せる[或いは、2♣(Check-back Staman)をビッドするペアもあるかも知れない]。Eのリビッドが2♦の時はWで一気に4♥をビッドする。4♥/E OL:♠8 ルーザは♥Aと♣は♣AがNにあれば1個で済むがSにあれば2個になるので、他では負けられない。またウイナーは♠2♥4♦3の9個でメイクには1個不足。如何にするか?
 ①♥を集めた後♠の3-3の分れ(確率約31%)を狙って♠の3巡目をハンドでラフして♠4枚目、5枚目を勝つ(ハンドへのエントリーの関係で♦は2個しか勝てなくなる)。②♦の3巡目をダミーの♥Jでラフする。ことが考えられるが②の方が成功する可能性が高い(♦が5-2 or 4-3であれば良い; 確率88%)。しかし、エントリーの関係で、プレーは慎重に組立る必要がある。OLはダミーの♠Aで勝ち、♥Qを出す!これが勝てば、♥を続けずに(♥Aは3枚の方にありそう)♦K♦Qを勝ち、♠Kでハンドに入り、♦10を出してダミーの♥Jでラフして、♥4を出して♥Aを追い出し♥を集めれば4メイクする。尚、Defenseが♥Qを♥Aで勝ち、♠を出してきた時は、ハンドの♠Kで勝ち、♦K♦Qを勝った後、♥4を引いてハンドの♥10で勝って♦10を出してダミーの♥Jでラフした後、♠5を引いてハンドでラフして、♥を集めれば4メイクする。尚、3NT/E はOL♣でダウン必至。

No. 3

♠ A86532		♠ 9
♥ J84		♥ K62
♦ 7		♦ QJ1042
♣ AJ3		♣ Q542
♠ KJ4	♠ 9	
♥ Q73	♥ K62	
♦ A863	♦ QJ1042	
♣ K107	♣ Q542	
	♠ Q107	
	♥ A1095	
	♦ K95	
	♣ 986	

N			
W	—	E	
		S	

N	E	S	W
		P	1♦
1♠	2♦	2♠	P
P	3♦	P	P
3♠	end		
			(P)
			2NT/W
			OL: ♠5

このハンドはWの1♦にNが1♠のOCを掛けて♦と♠の競り合いとなり、3の代まで上がる可能性が高い。なお、Wがリビッドで2NTをビッドすればそのまま決まる可能性があるが危険。
 3♦/W OL: ♥4(or ♠A 次に出すものが難しい) Sは♥Aで勝ち、♠Qを出す。♠Aで勝ったNは♥を続ける。Declarerはダミーで勝ち、♦を♦Kをフィネスしながら集めれば3メイクは固い。
 3♠/N OL:♦Q→♦K→♦A→♦7 Wからの♦リターンをハンドでラフ♠A♠3と出す(♠2-2の分れを狙って)と、♠で2ルーザーになること判明。♥が1ルーザーになったが2メイクがヤットかも知れない。(ルーザー-♠2♥1♦1♠1ある)。通常9枚カードでの競り合いは3の代までは良しとする。
 2NT/W OL: ♠5 3ダウンの可能性が高い。

No. 4

♠ 82				
♥ 1094				
♦ AQ653				
♣ A98				
♠ Q104				♠ AKJ63
♥ 875				♥ AK6
♦ K98				♦ 104
♣ K1062				♣ QJ4
				♠ 975
				♥ QJ32
				♦ J72
				♣ 753

N	E	S	W
			P
P	1♠	P	2♣
P	4♠	end	

Eの1♠に対して最初パスしているWは2♠にレイズする。1NT-Forcingの場合でも2♠に直ぐレイズする(1NTでレスポンスして、リビッドで2♠をビッドしても、♠3枚サポートは示せない)。6~7hcpの場合は1NTレスポンスでも良いかもしれないが…。Eは4♠にレイズして決まる。

4♠/E OL: ♥Q or ♥2 Declarerで考えて♠5♥2♣3個勝てれば4メイク可能になる。OLはハンドの♥Aで勝ち、♠を3巡集め♠を出して♣Aを追い出しに行く。♣Aを持っているNから見て、♣Aと♦AQに加えてSで♥1個勝てれば4♠は1ダウンできると考えられる。そこで♣Aを勝つタイミングを

如何するが問題となる。Eの♣が3枚と見るか2枚と見るか？3枚と考えるなら3巡目までダックしなければいけない。2巡目までに♣Aを勝つと、♣の4枚目で赤いスーツのルーザーを捨てられる！ Eの♣が2枚とすればEには♥と♦に6枚あるはずで♦2♥1のルーザーがありそうで、2巡目に♣Aを勝ち♥をリターンするのが良い。このハンドでは♣3巡目まで♣Aを出さないと1ダウンに出来る。DefenseのNの判断で結果に大差の出るボードである。

実際のゲームでは4♠/E 10テーブル中 4メイク 7T 1ダウン 3Tであった。

No. 5

♠ 32				
♥ 53				
♦ AKQ3				
♣ QJ1062				
♠ KQJ9				♠ A1085
♥ AKJ962				♥ Q84
♦ 987				♦ 106
♣ —				♣ K543
				♠ 764
				♥ 107
				♦ J542
				♣ A987

N	E	S	W
1♣	P	1♦	1♥
2♦	3♦	P	4♥
	(2♥)	end	

DealerのNのハンドは12hcpでリビッドが難しくなる可能性が高いが

Sのレスポンスが♥♠であれば1NTをビッドするとして、1♣でオープンするのが普通(1♦のOPも考えられる)。

Sの1♦レスポンスに、Wのハンドで1♥のOCを掛けるかダブルを掛けるか迷う。Major 6-4なのでOCが多いかも知れない。

1♥のOCの時はNの2♦レイズにEは3♦のCeubビッド(♥3枚サポートと

約10hcpを示す)、Wが4♥をビッドする。ダブルの時はNの2♦レイズに、Eが2♠でテイクアウトするので、Wは3♣にレイズし、Eが4♠をビッドする。Nが最初パスした時は右のようなビッド経過で簡単に4♥に落ち着く(Sのダブルはリードショウイング)。

4♥/W OL: ♦K ♦Qを続け ♣Qを出す。Declarerはハンドでラフ、♥を集めると2順で済むので5メイク。

4♥/E OL: ♣A or ♦2 上記と同様に簡単に5メイク。4♠/Eも簡単に5メイク。

16T中 4♠/Eは1Tのみであったのは意外である。2-3♥/Wも3Tであった。さすがにN-S Vulで5♣、5♦まで競ったペアは無かった。

No. 6

♠ AKQ108				
♥ A4				
♦ K4				
♣ K965				
♠ J973				♠ 62
♥ Q5				♥ J1097
♦ J9862				♦ A753
♣ 43				♣ QJ2
				♠ 54
				♥ K8632
				♦ Q10
				♣ A1087

N	E	S	W
	P	P	P
1♠	P	1NT	P
3♣	P	3♥	P
3NT	end		

4thハンドの1♠にSは1NTでレスポンスし、Nの3♣のジャンプシフトにSで4♣レイズか、3♥をビッドするか迷うが、3♥をビッドするのが普通。これにはNが3NTをビッドする(右上)。4♣には5♣をビッド。

3NT/S OL: ♦6 Eは♦Aで勝ち♦3を返す。♦Qで勝ったDeclarerのプレー計画は？

♥2♦1♠2個は確実に♠で4個勝てれば3メイク出来る。① ♠JをWに期待してフィネスをするか、② ♠の3-3の分れ(確率約31%)を狙いつつ、4-2でも♠Jが2枚の方にある(約16%)ことを狙うかである。後者も成功率ではフィネス(50%)と大差はない。尚、♠Jのフィネスをする場合、♠Aを勝ってからハンドに戻り、2巡目に行くこと(確率は少ないがEの♠Jシングルトンに備える)。

このハンドは①のフィネスが成功して4メイク。②のプレーでは1ダウン。

5♣/N OL: ♥J ハンドの♥Aで勝ち、♠A♣Kを勝ち♠AKQと出す。E(W)が何処でラフしても、♦Aに負ければ5メイクは固い(ルーザー♦A、♣Qのみ)。

実際のゲームでは3NT/Sがプレーされた10T中、メイクは1Tのみであったのは意外である。実戦心理が作用したのかもかもしれない。

No. 7

♠ K52
♥ 7
♦ Q87542
♣ K84

♠ 874 ♠ J
♥ Q8654 ♥ J1093
♦ 3 ♦ AKJ9
♣ A1096 ♣ QJ53

	N		
	W	+	E
		S	

♠ AQ10963
♥ AK2
♦ 106
♣ 72

N E S W Sの1♠に対して、Nのレスポンスで2♠にレイズすると、Sが3♠をリビッドするので、4♠にレイズする。
尚、EではVULではあるが2♠にダブルを掛けることもある(2♠では売りにたくない)。
2♠ P(X) 3♠ P この時は♥と♠の競り合いになる可能性もあり。
4♠ end 4♠/S OL: ♦3 EはOLを♦Jで勝ち、♦Kを勝ち♦9を出す。Sは♠Q(♠10)でラフする。
♥を1回ダミーでラフしても、4メイクには♠AがWにあって♣Kが勝てることに賭けるしかない！
そこで、♠を出してダミーの♠Kで勝ち♥7を引いてハンドの♥Aに入り、♥2をダミーでラフする。次いで♠を刈り上げてから、**ハンドから♠を出し、♣Kのスチールを狙う。**
このプレーが成功して4メイクとなる。♦の3巡目にWでオーバーラフされないことが大切で♠Jの在処を当てる必要がある。
♠が2-2の分れか(38%)、3-1で♠Jがシングルトン(13%)と仮定すれば♠Qでラフが良い。♠JXX(約20%)がEにあるとするなら♠10が良いが……。
37テーブルのペアー戦で**4♠/S 4M 12T; 4♠/S 1-2D 8T; 3♠/S 4M 5T 3M 7T; 4♥X/W 1-2D 3T**であった。

No. 8

♠ AJ732
♥ J103
♦ Q32
♣ 93

♠ KQ86 ♠ 4
♥ K84 ♥ AQ92
♦ J875 ♦ A10
♣ K4 ♣ A108752

	N		
	W	X	E
			S

♠ 1095
♥ 765
♦ K964
♣ QJ6

N E S W WがAのない12hcpのハンド(絵札の形も良くない)なので、最初パス N E S W
した時はEの1♠のOPにWが2NT(最初パスしているので1♠では P 1♥ P 1♠
P 1♣ P 2NT ハンドの強さを示せない)をビッドし、Eが3NTにレイズする(左)。 P 2♣(3♣) P 2♥(3♥)
P 3NT end Wが1♦でOPし、Nがパスした時はEは1♥でレスポンスし、Wの1♠に P 3NT end
Eは2♠をビッド(4thスツツでForcingであるが♣スツツとは限らない)

するか、♣5枚以上で強いハンドを示す3♣をビッドする。何れにしてもEが3NTをビッドすることになる(右上)。一方、Nが1♠のOCをした時はEの2♠にWが2NTをビッドし、Eが3NTにレイズする(右下)。
3NT/W OL: ♠3→♠4→♠9→♠K Declarerは♠で5個勝てれば3メイクは固いので、♣Kを1♠ 2♠ P 2NT
勝ち、♣4を出してNから♣Qor♣Jが出なければ、**ダミーから♣10を出して♣Q(♣J)を追い出す。** P 3NT end
♣Qで勝ったSが♠10を出してくれば、**♠Qをカプセル!**(♠8がストッパー)。Nから何が出ても。
4メイクは固く、♥4枚目が勝ると5メイク。 3NT/E OL: ♠10→♠K→♠A→♠4 Nが♠3を返してきた時は、Declarerは
♠5-3に備えて一度ダックしてから♠Qを勝つ、次に♣Kを勝ち♣4を出してNから♣Qor♣Jが出なければ、**ダミーから♣10を出す**
(重要: Nが♠3枚に備える安全プレー)。4メイクは固い。OL: ♦4の場合でも♦で2ストッパーあるので、♣Qに負けるプレーで
4メイクは固い。

No. 9

♠ 6
♥ Q82
♦ AQ10954
♣ 975

♠ 108 ♠ A97532
♥ 6 ♥ A1043
♦ J862 ♦ —
♣ AJ10642 ♣ KQ8

	N		
	W	—	E
		S	

♠ KQJ4
♥ KJ975
♦ K73
♣ 3

N E S W 競り合いでの判断が難しいハンドである。Eの2♠まで自然な流れで、Nで3♥に競り上がる。
P 1♠ 2♥ P これに対してWで3♠に競るかパスするか判断は? E-WがVulで♠8枚フィットしか見えないので
P 2♠ P P パスするのが普通だが……。
3♥ P P 3♠(P) 3♥/S OL: ♠10 ♠Aで勝ったEは♠Kを返す。これが勝つので♣Qを続ける。Declarerはハンドで
P(4♥) end ラフし、♠Kでダミーの♣9を捨ててから、♥7を出しダミーの♥Qを出す。Eが♥Aを勝たなければ、♥2を
引きEから♥Lowが出れば、ハンドから♥Jを出す。これが勝てれば、♥A10をEに残し、♦Kを出しEが
何処でラフしても2ルーザーだけで3メイクする。Eが♥の1or2巡目に♥Aで勝った時も、3メイクは可能。OL: ♣A ♣Jが続け
れば、Declarerはハンドでラフし、上記と同様♥を2巡集めて、♦を出すプレーで3メイクになる。ドチラにしても4メイクは難しい。
3♠/E OL: ♥7 Declarerは♥Aで勝つ。Declarerは♠を集める前に♥をダミーでラフする必要がある。第2トリックで♥3を
出し、ダミーでラフ、♦ラフでハンドに戻り、♥をラフしてから♣でハンドに戻り、♠Aを取り、♠を出して負けに行く。♠3ルーザーと♥で
1ルーザー出るが3メイクする。
37テーブルのペアー戦で、**3♠/Eが10テーブルの中 メイク 5T、ダウン 5T: 3♥/Sは4Tのみで、4♥/Sをプレーしたのは12T**であった。4♥、4♠にはダブルが掛かる可能性高い。損得勘定はどうなるか? 4♥X/S 1ダウン(-100)が正解?

No. 10

♠ QJ8	♠ AK6
♥ 97642	♥ Q105
♦ K6	♦ J1082
♣ 852	♣ AK7
♠ 10752	♠ AK6
♥ KJ	♥ Q105
♦ AQ953	♦ J1082
♣ 64	♣ AK7
	♠ 943
	♥ A83
	♦ 74
	♣ QJ1093

	N		
W	+	E	
			S

N	E	S	W
	1NT	P	2♣
P	2♦	P	3NT
end			

Eの1NTに、WはStayman 2♣を経由して、3NTをビッドする。

3NT/E OL: ♣Q Declarerは♣5-3の分れに備えて、♣の1巡目はダックして2巡目に♣Aで勝つ。ウイナーは♠2♣2あり♦Kのフィネスが成功すれば♦5個あり3メイクになるが、♦Kのフィネスが抜けると♥で1個必要になる。そこで♣Aで勝った後、ハンドからダミーに向けて♥5を出す。ダミーの♥Kが勝つと♥を続けずに(♥を続けて♥Aに負けて、♥で♥Qに入れられると♥のストッパーが無くなる)、♠Aでハンドに戻り、♦Kのフィネスをしないとこのフィネスが成功しないでも3メイクは固い。♥Kが♥Aに負けて♣が出てきて、ハンドの♣Kが追い出されても、♦KでNIに入った時にNIには♣がない(OLでのダックの効果:NIに♣が残っている時は4-4の分れで♣では2個負けるだけで3メイクは安全)。尚、♥を触るより先に♦のフィネスをするのは、♥AがNにあれば良いがSにあると危険である(Nの♦Kに負けた時に♣のストッパーに打ち込まれている)。ドチラに負けるか不明のスイツを先に触るのが原則である。

No. 11

♠ K103	♠ J9742
♥ A62	♥ 95
♦ AQJ5	♦ K103
♣ 643	♣ 872
♠ Q85	♠ J9742
♥ QJ108	♥ 95
♦ 94	♦ K103
♣ K1095	♣ 872
	♠ A6
	♥ K743
	♦ 8762
	♣ AQJ

	N		
W	X	E	
			S

N	E	S	W
		1♣	P
1♦	P	1♥	P
3NT	end		

Sの1♣のOPにNは2♦でレスポンスし、Sの1♥のリビッドに3NTをビッドするのが普通であるが、EでのOCを避けるために、最初のレスポンスで一気に3NT(13~15hcp)をビッド(左下)することも考えられる。

N	E	S	W
		1♣	P
3NT	end		

3NT/N OL: ♠4 最初はダックし、♠の2巡目で♠Aで勝つ。3メイクには♠2♥2とMinorで5個勝つ必要がある。プレー方針? 第2トリックでは♦2を引きハンドから♦Qを出す。①♦Qが勝つ場合は♦の2回目のフィネスは避けて♦Aを勝ち、♦5を出して♦Kに負ける。次に♠が出されたら♠Kで勝ち、♣を出して、♣Kのフィネスをする。これが成功せずWの♣Kに負けても、Wは♠を返せない。Wに♣が残っている時は♠は4-4の分れである。3メイクは固い。②Eの♦Kが勝って♠が出された時は、ハンドの♠Kで勝ち、♣のフィネスをする。♦のフィネスを先にして、♣のフィネスを後にすることが重要(No. 10のプレーと共通するところがある)。♦が4-1の分れの時は、♣Kのフィネスが成功しないと3メイクは出来ないとしてプレーする。

No. 12

♠ AQ643	♠ KJ975
♥ A105	♥ 83
♦ AQ8	♦ J75
♣ J8	♣ Q32
♠ 2	♠ KJ975
♥ K74	♥ 83
♦ 96432	♦ J75
♣ AK64	♣ Q32
	♠ 108
	♥ QJ962
	♦ K10
	♣ 10975

	N		
W		E	
			S

N	E	S	W
			P
1♠	P	1NT	P
2♦	P	2♠	P
3♠	P	P	end
P	end		

Sの1NTレスポンスがForcingの時は、Nはリビッドで2♦をビッドし、Sが2♠をビッドするので、hcpに余裕があるNはパスするか3♠をビッドしてInvitationするかは悩ましい。Nが3♠をビッドしても、Sは弱いのでパスする。尚、Sの1NTに対してNは17hcpあるので2NTにレイズするペアーもある(左下)。これに対してSは♠3枚なら3♠に直すが、このハンドではパスが普通。

N	E	S	W
			P
1♠	P	1NT	P
2NT	P	P	end
(2NT: 16hcp up)			

3♠/N OL: ♥8 (結果的には良いリードとは云えないが仕方なし)→♥Q→♥K→♥A Declarerはダミーに向けて♠3を出す。Eが何をしても♠で3ルーザー出て、♣2個負けると少なくとも1ダウン。プレーによっては2ダウンもあり得る。OLが♣2の場合でも♥Kのフィネスが可能で♣2♠3のルーザーで1ダウンで済みそうである。2NT/S OL: ♣K 次に何を出すか? ♦3を出す。♦Kで勝ったDeclarerが♥Q、♥9を出してきた時にEが♥Kをカバーすると、Declarerは♥で5個勝てるので容易に3~4メイクになる。しかし、Wが♥の3巡目まで♥Kを出さないとSへのエントリーが無いので2メイクがヤットになるかも知れない(Defenseでのダックの判断が問題となる)。

No. 13

♠ K10
♥ 1086
♦ K8543
♣ 954

♠ QJ985
♥ AKJ9
♦ 102
♣ J8

	N	
W	+	E
	S	

♠ 43
♥ Q7532
♦ A7
♣ Q1072

♠ A762
♥ 4
♦ QJ96
♣ AK63

N E S W
P P 1♦ 1♠
2♦ X P 2♥
3♦ 3♥ end
(4♦ 4♥までも??)

このハンドはBothVulながら互いに9枚カードの♦と♥の競り合いとなり、3の代、4の代まで競り上がる可能性がある。
Sの1♦にWが1♠のOCを掛け、Nが2♦にレイズする。これに対してEはレスポンシブルダブルをかける(ある程度のhcpがあり、♥♣がスーツで、♥♣が4枚なければWで2♠をリビッドも良いことを示す:♠に3枚あることが望ましいが...)。Wが2♥をビッドし、Nが3♦に競ってくればEは3♥まで競る。
4♦/S OL: ♥K 続いて♥Aを出す。Declarerはラフして♦を2巡で集められるので、♦4♣2♠2個と

♥ラフ2回で4メイク。
3♥/W OL: ♦4 Declarerは♦Aで勝つ。♥5 ♦1は確実で、♣を2個負ければ残り1個とラフ1回の2個勝てるが、1ダウンが相場(ルーザー:♦1♣2♠2あり)。一方、♠を2個負ければ残りの♠3個が勝てるようになるので、Defenseが♣2個を取り損なうと3メイクされる可能性がある。

No. 14

♠ A
♥ A86532
♦ AQ
♣ AKQ10

♠ K982
♥ J104
♦ J109
♣ J86

	N		
W	X	E	
	S		

♠ 65
♥ Q97
♦ 75432
♣ 952

♠ QJ10743
♥ K
♦ K86
♣ 743

N E S W
P P P P
2♣ P 2♦ P
2♥ P 2♠ P
3♣ P 3♠ P
3NT P P end
(4♠) (4NT P
5♣ P 6NT(6♠)end)

4thハンドのNの2♣(Strong)OP後のビッドはどうか? スーツマッチしない中でのコントラクトの選択が難しい。4♥、4♠ or 3NTで止まるかスラムまでビッドするか。
6NT/N OL: ♦3 Declarerのプレー計画? ウイナーは♣3♦3♥2♠1の9個しかない。何処で増やすか? ♠は♠Kに負ければ5個勝てる(4-2の分れとして)。しかし、♠Kの追い出しと、残りの♠を勝つために、ダミーへのエントリーが2回必要である。ダミーへのエントリーが少ないので注意が必要。♠で5勝出来れば♦では2勝で良いので、OLはハンドの♦Aで勝つ。次に♠Aを勝ち♥Kでダミーへ渡り、♠Qを出して♠Kを追い出せば、♦Kをエントリーに残りの♠が勝るので6メイクする。OLの♦をウっかり♦Qで勝つとダミーへのエントリーが不足して、6メイク出来ない。尚、このハンドは6♠/Nも♠Kに負けるだけでメイクする。4♥/S は幸運にも♥3-3、♣3-3の分かれで6メイクになる。実際のゲームではスラムをビッドしたのは1/3で他はゲーム止まりであった。また、SがWeak 2♠でOPした場合のNのビッドはどうか? NのOgust 2NTに対してSは3♥をビッド(♥は弱く、ハンドは強い)、6♠に到達出来るか? ♠で1ルーザーに抑えられるかが問題となる(♠KQJ10の中3枚あれば良いが...)。Nでの判断。

No. 15

♠ 2
♥ AQ1063
♦ 763
♣ AK106

♠ KJ983
♥ 87
♦ AQ109
♣ J8

	N	
W		E
	S	

♠ AQ75
♥ K52
♦ K84
♣ 974

♠ 1064
♥ J94
♦ J52
♣ Q532

N E S W
P P 1♠
2♥ 3♥ P 3♠
P 4♠ end

Wが1♠でオープンして(11hcpであるが絵札が集中してオープンするのが良い)、Nが2♥のOCをした時、Eは♠4枚の12hcpバランスハンドなので、3♥のキュービッドをするのが普通(一気に4♠をビッドすることも考えられるが、Wが強いハンドの時スラムを逃す恐れがある)。これにWが3♠をビッドしてEで4♠にレイズする。一方、Wが最初パスした時はNが1♥でオープンするので、12hcpのEはパスするよりなく、SのパスにWが1♠のOCをして、Eが3♠にレイズ(2♥のキュービッドもあり)、これをWがパスするか4♠にレイズするかは微妙(左下)。
4♠/W OL: ♣K(Sは♣5を出す) Nは♣Aを出し♣6を続ける(Sは♣2枚か♣Qを持っているとして)。Declarerはこれをラフし、♠を集めて♦4個勝った(ダミーから♥を捨てる)後、ビッドから♥AはNにあるとしてハンドから♥7を出し♥Kのスチールを狙う。これが成功するので4メイク。
16テーブルのチーム戦でのコントラクトは 4♠/W 7T; 3♠/W 5T; 2♠/W 4T で、何れも4メイク。チーム戦としては4♠ビッドが意外に少なかった。NonVulであったせいかもしれない。

N E S W
P P P 1♠
1♥ P P 1♠
2♣(P) 3♠ P 4♠(P)
(2♥ P 3♠
P 4♠) end

No. 16

♠ 1075	♠ 6
♥ 754	♥ Q1083
♦ AQJ86	♦ 9752
♣ Q10	♣ KJ43
♠ J932	♠ AKQ84
♥ AK96	♥ J2
♦ 104	♦ K3
♣ 972	♣ A865

	N	
W	—	E
	S	

N	E	S	W
P	P	1♠	P
2♠	P	4♠	end
4♠	(3♠)	P	end)

Sの1♠に対して、Nはパスハンド(9hcp)なので1NTのレスポンスより、2♠のレイズが良いと考える。Nの2♠にSが直接4♠をビッドするか、3♠を経由してNが4♠にレイズするかはペアーによるが、このハンドでは3♠を経由するビッドが多いかも知れない。

4♠/E OL:♥K 続いて♥A、♥6が出された。プレー方針は？ ♠3-2(63%)の分かれなら、

♥5♦5♣1勝てて5メイクは固いが…。若し♠が4-1(31%)の分かれの時ダミーの♦を取るための

エントリーが♦A以外に無いので問題になる！

♥の3巡目をハンドでラフした後、♠Aを勝ち、ダミーの♠10に向けて♠8を出すのが安全プレー。

Wがカバーしなければそのまま流す。仮にEに♠9で勝たれてもコントラクトは安泰。Wが♠Jで勝ち♥を出してくればダミーでラフ、♦Kでハンドに戻り、♠を集めて♦を勝てば4メイクは可能。

若し、♠Aの後、♠Kを取り♠4-1の分かれが判明した時点では♦の4枚目5枚目を取る手段がなく、♠と♣でルーザーが出て1~2ダウンになる。ペアー戦なら確率約6割(♠3-2の分れ)の5メイクを狙う(危険承知で作戦的に)こともあり得るが、**チーム戦では安全プレーが重要です。** 尚、OL:♦10の場合はダミーへのエントリーの関係で♠3-2の分れに賭けるしかなくこのハンドでは2ダウンになる。

No. 17

♠ Q42	♠ 10876
♥ 52	♥ QJ87
♦ K942	♦ 875
♣ 10842	♣ 93
♠ AJ93	♠ K5
♥ K1093	♥ A64
♦ A10	♦ QJ63
♣ AK6	♣ QJ75

	N		
W	X	E	
	S		

N	E	S	W
P	P	1♦	X
2♦	P	P	X
P	2♥	P	3♥
end			

WがSの1♦にダブルをかけ、Nが2♦にレイズするとE、Sがパスする
のが普通で、Wは再度ダブルをかけ、Eが2♥にテイクアウトしてWが
3♥にレイズして決まる(左上)。WのダブルにNがパスした時は、Eが
1♥でテイクアウトする。これに対して強いハンドのWはEに少し絵札が
あれば4♥が可能と考えて、3♥をビッドするか、**2♦のCue-bid**が考
えられる。Wの3♥にはEでパスするか、4♥にレイズするかパスするか
は微妙(左下)。Wの2♦にはEは2♥をビッドしてサインオフ。

N	E	S	W
P	P	1♦	X
P	1♥	P	3♥
P	4♥(P)	end	

若し、Eが2♠をビッドすれば(右)Wが4♥をビッドする。
3-4♥/E OL:♦Q ダミーの♦Aで勝つ。ルーザーを♦1♥1♠1に収めれば4メイク可能である
が……。♥Aを追い出して、ダミーで終わる様に♥を集る。♠が1ルーザーになるのは3-2の分れで
♠KQがNSに分れているか、共にSにある時としてプレーを組み立てる。そこで、♠10を出してその

まま流す。Nの♠Qに負け、Nが♦Kを勝ち、♦を出してくればダミーでラフし、♣A♣K♣6と出してハンドでラフ、ハンドから♠6を出す
とSから♠Kが出て4メイクになる。

No. 18

♠ AKQ9	♠ 107
♥ 84	♥ J97
♦ KQJ2	♦ 97643
♣ KJ5	♣ 843
♠ J8652	♠ 43
♥ A53	♥ KQ1062
♦ 108	♦ A5
♣ Q92	♣ A1076

	N		
W		E	
	S		

N	E	S	W
	P	1♥	P
1♠	P	2♣	P
4NT	P	5♥	P
6NT	end		

Sの1♥OPに19hcpあるNはスラムを意識してビッドする。Nのレスポンスは1♠と2♠の両方が
考えられる。Sがリビッドで2♣をビッドして、Nからスラムトライして6NT/NIになる(左上)。
Sが1NTをリビッドすれば、6NT/Sになる(左上)。

N	E	S	W
	P	1♥	P
1♠	P	1NT	P
4NT	P	5♥	P
6NT	end		

6NT/N OL:♦4 ダミーの♦Aで勝つ。ウイナーは♠3♦4♣2は確実だが♥で1ルーザーに出来る
か？ ♥の触り方が難しい。①♥AがEにあるとして♥3-3の別れを期待してハンドからダミーに向
けて♥を2回出す。②若し、♥AがWにあった時は2回目の♥では♥Jのフィネスをするプレーを選択す
れば6メイクするが……。1ダウンになるケースが多いかも。

OL:♣8の時は→♣6→♣Q→♣Kとなり、♣で4個勝てることが判明し、♥で1個勝てれば6メイク
確実なので、♥を出して♥Aを追い出せば、6メイクは固い。OLで結果に差が出る。

6NT/S OL:♠5 ダミーの♠Aで勝つ。上記と同様に♥で1ルーザーに出来るかが成否を分ける。
♠Qの両ウエイフィネスを当てればよいが…

No. 19

♠ AJ984
♥ QJ10
♦ J
♣ QJ43

♠ 1063
♥ 52
♦ AKQ10
♣ 86

	N		
	W	—	E
		S	

♠ Q2
♥ AK863
♦ 8732
♣ A5

♠ K75
♥ 974
♦ 54
♣ K10972

N E S W
P P P P
1♠ 2♥ 2♠ 3♦
P end
(3♠)

3rdハンドのNは12hcpながら、Jが4枚もある弱いハンドであるがNonVulでもあり、1♠でOPする。Eが2♥のOCした時に、Sがパスするか2♠にレイズするか？2♠レイズするペアが多いと思う。これに対してWがパスするか3♦をビッドするかもあり、ペアにより差が出易い。また、Wの3♦に対してNが3♠をカプセル可能性もある。

N E S W
P P P P
P 1♥ P 1NT
P end

3♦/W OL: ♣Q Declarerはダミーの♠Aで勝つ。♦6♣1♥2と♠ラフのウイナーがあるので4メイクは確実。尚、♥の分れが3-3なら♦を集めた後、♥A♥Kを勝ち♥の3巡目を♦10でラフ(重要)して、♦8でダミーに渡りエスタブリッシュした♥の4枚目5枚目が勝てて5メイクになるので、このプレーを試みるべきである。それにはダミーへ渡るエントリーのためにハンドの♦6を残す必要がある。3♠/N OL: ♥K 続いて♥A♥6を続け、Wがラフして♦K♦Qを出すのでDeclarerはハンドでラフする。♠K♠Aと集め♣Aに負けて1ダウンになるのが相場である。

No. 20

♠ J1062
♥ A8532
♦ 9853
♣ —

♠ K95
♥ KQJ64
♦ J72
♣ A10

	N		
	W	+	E
		S	

♠ AQ74
♥ 10
♦ 6
♣ KQJ8532

♠ 83
♥ 97
♦ AKQ104
♣ 9764

N E S W
P P P P
P 2♣ P 2NT
P 3♣ P 3NT
P P end
(4♣
P 5♣ end)

Wの1♥に対して超アンバランスハンドのEのビッドは注意が必要。Major優先のビッドスタイルでも、♣が7枚ある2♣でレスポンスする。これに対するWのリビッドはペアにより2NT(左)or2♥(右)に分れるかも知れない。左の場合Eの3♣リビッドにWが3NTをビッドすればそのまま決まり、4♣をビッドすればEが5♣にレイズする。Wのリビッドが2♥の場合は、Eは2♠をリビッド(Forcing)し、Wの2NTに3♣をビッドして♣6枚以上を示す。これに対してWが3NTならパス、4♣なら5♣にレイズすることになる。

N E S W
P P P P
P 2♣ P 2♥
P 2♠ P 2NT
P 3♣ P 4♣
P 5♣ end

3NT/W OL: ♦3 Sは♦Qで勝ち♦A♦Kと続け、♦10♦4(この時Nは♥8を捨てる)を勝って、♥を出すので2ダウン。OLが他のスーツの時は♣7♠3個は勝てるので4メイクは確実である。OLによりスコアに大きな差が出る。5♣/E OL: ♦K Declarerは♦の2巡目をラフして、♣を集めた後♥Aに負ければ5メイクは確実。

No. 21

♠ Q652
♥ A
♦ AKJ93
♣ 973

♠ J9
♥ K108532
♦ 754
♣ Q6

	N		
	W		E
		S	

♠ 10873
♥ J96
♦ Q6
♣ K1052

♠ AK4
♥ Q74
♦ 1082
♣ AJ84

N E S W
1♦ P 3NT P
end

Nの1♦のOPにバランスハンドで14hcpのSは3NTでレスポンスするのが普通。しかし、Nが♦6枚以上の16~18hcpのハンドの場合(6♦の可能性あり)に備えて2♣をビッドするレスポンスも考えられる。

N E S W
1♦ P 2♣ P
2♦ P 3NT end

3NT/S OL: ♥5 ダミーの♥Aで勝った後のプレー方針が難しい。ウイナーは♠3♥1♦2♣1の7個しかない。♦Qのフィネスが成功すれば(確率50%)、♦で5個勝てて4メイクするが…不成功の時はEからの♥リターンでダウン必至で仕方なしとするか？ もう一つの可能性として♠Aでハンドに入り、♦10を出して♦QXの可能性を狙って♦A♦Kとタタクプレーが面白い。♦Qがダブルトンの確率は約27%であるが、♦Qが残っても♦を出して負けに行った時、Wに入れば(フィネスが成功する時)はハンドの♥Q7がストッパーになっているので3メイク出来る。♦QがEに残る場合はフィネスが成功しない時なので、このプレーのリスクは4メイクが3メイクになるだけである。このハンドの様にEが♦QXのケース(確率的には13%強)ではフィネスよりもメイク出来るチャンスが増える。

以上